

梁川ガイドマップ

やながわ史跡のみどころ

— 伊達氏のルーツを訪ねる —
きっと新しい発見が！

やながわ史跡めぐりコース

Aコース (2時間半) Bコース (3時間)

まちの駅やながわ

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|-----------|
| 1 興国寺 | 0.2k: 3分 | 6 やながわ希望の森公園 | 1.7k: 25分 |
| 2 梁川天神社 | 0.3k: 5分 | 7 梁川城本丸跡 | 1.5k: 22分 |
| 3 梁川八幡神社 | 0.9k: 13分 | 8 古町観音堂 | 0.5k: 7分 |
| 4 龍宝寺 | 1分 | 9 梁川美術館 | 0.4k: 6分 |
| 5 大枝城跡 | 2.5k: 37分 | 10 称名寺毘沙門堂 | 0.2k: 3分 |
| | 2.4k: 35分 | 11 本覚寺楼門 | 0.2k: 3分 |

まちの駅やながわ



伊達市観光ポータルサイト

「だてめがね」



まちの駅やながわ
〒960-0741 福島県伊達市梁川町大町一丁目60
TEL 024-573-7235 FAX 024-573-7236
[管理者: NPO 法人伊達氏のふるさと梁川会]



3 梁川八幡神社本殿



7 梁川城本丸跡本丸館復元模型 (福島県立博物館蔵)

〈歓迎〉まちの駅やながわ

歴史と文化のまちづくり事業により整備しました「まちの駅やながわ」は、伊達氏のふるさと梁川の城下中央にあり、歴史めぐりに利便性の高い位置にあります。

観光でおいでいただく皆様のためにおもてなしの心でお迎えしています。

この「まちの駅やながわ」は、みなさまが梁川史跡めぐりの際に出発点として利用していただくため案内ガイドの窓口として、又休憩所としてお気軽にお立ち寄りくださるようお待ちしております。

- 観光案内（ガイド）の窓口です。
 - 特産品販売コーナーには、梁川のおみやげ品を揃えてあります。
 - くつろぎコーナーでは、昼食ができます。（団体は事前の予約が必要）。
 - 梁川ならではの特色ある郷土の文化を知っていただくためのミニ展示コーナーを設けています。
- ※まちの駅やながわは、年末年始を除いて年中無休で営業しています。（営業時間は毎日9時～17時半まで）

■所在地 伊達市梁川町大字町一丁目 60
■TEL 024-573-7235

〈伊達市関連施設の案内〉

①保原歴史文化資料館（旧亀岡邸舎）

■所在地 伊達市保原町大泉字宮脇 265
■TEL 024-575-1615

②寿健康センター

大浴場、休憩所、小体育場の他、屋内ゲートボール場が併設されている。
■入館料：市民 100 円、他市町村者 300 円
■休館日：日曜、祝日
■営業時間：9 時～16 時まで（入浴は、10 時～15 時半まで）
■連絡先：伊達市梁川町大字葛蒲沢 84
☎ 024-577-7841

〈伊達市観光物産交流協会〉

※観光案内ガイドの申し込みは、伊達市観光物産交流協会にご連絡いただきますとボランティアガイドを手配できますので、事前にお気軽にご相談下さい。

■所在地 〒960-0792 伊達市梁川町青葉町 1
■TEL 024-529-7779

交通連絡先
阿武隈急行（本社）…… ☎ 024-577-7132
梁川タクシー…… ☎ 024-577-1141



1 興国寺



2 梁川天神社（御朱印取扱い）



3 嶋崎波響奇進石灯籠（梁川天神社）



4 龍宝寺



5 大枝城跡



7 梁川城跡本丸庭園「心字の池」

1 興国寺

（松前家寄進駕籠、道広侯筆扁額等は、市指定文化財）

上杉氏の若松移封により梁川城代となった須田大炊介長義、旧地信濃国の興国寺より住持警岩和尚を招き、慶長 7 年（1602）8 月 6 日、現在地に曹洞宗「臥龍山興国寺」として建立、開山した。

境内には、須田満親、長義父子の浄慶廟をはじめ、松前藩 13 世道広侯筆の扁額等が所蔵されている。境内には名僧新井石禅師の銅像が見られる。

■所在地：伊達市梁川町大字町二丁目 49

2 梁川天神社

（松前藩家老嶋崎波響奇進石灯籠は市指定文化財、明治丈量図絵馬は県指定文化財）

社伝では、永観年中（983）、伊達家の遠祖に当たる山蔭中納言政朝が、霞ヶ岡（現鶴岡）に仮城を築いた時、北郭に社殿を建て、菅原道真公の御霊を勧請して天満宮と号した。

文治 5 年（1189）の役戦功により、伊達の地を賜った朝宗の子宗村が建久（1190）のはじめ、梁川霞ヶ岡の城を改築した時、天満宮の宮跡を再興した。

現在地に移ったのは、天正 4 年（1576）15 代伊達晴宗の代である。

寛永 12 年（1625）、上杉氏の梁川城代の須田長義が社殿を改修、享保 14 年（1729）松平通春が境内に別宮の東照宮を勧請した。

現社殿は、明治 27 年（1894）に再建され現在に至る。

■社務所：伊達市梁川町字上町 10
☎ 024-577-0227



7 梁川城跡・北三の丸土塁



8 古町観音堂



9 伊達市梁川美術館



10 称名寺毘沙門堂



11 本覚寺楼門



12 粟野地藏堂

3 梁川八幡神社

（境内地・県指定史跡名勝、本殿・市指定文化財）

梁川八幡宮由緒によると永観 2 年（984）に創建、承安年中（1171～1175）再建が行われ、奥羽から多数の工人を集め、3 年がかりで完成し三重塔を建てたと伝える。

応永 33 年（1426）11 代伊達持宗が、元龜 2 年（1571）には、16 代伊達輝宗が再建している。伊達氏の祖朝宗が高子ヶ岡に勧請したとされる亀岡八幡は、伊達氏の本拠梁川城築城の際に梁川八幡に合祀された。

伊達 66 郷の総社として伊達家の篤い庇護の下、中世伊達領の総鎮守であった。17 代政宗も天正 10 年（1582）4 月、戦勝祈願に訪れている。

■所在地：伊達市梁川町八幡字堂庭地内

4 龍宝寺

（山門、鐘楼、観音堂の 33 観音像は、市指定文化財、境域は県史跡名勝地）

真言宗龍宝寺の寺伝では、奈良時代に長谷寺開山の徳道上人の弟子、空道上人が開いたという。もと梁川城の東、葛蒲沢にあった。

龍宝寺は、梁川八幡宮の別当寺で、伊達氏の祈願寺でもあり江戸期は亀岡寺と称した。

山門は、薬医門の形式で、ふくらみのある茅葺「むくり屋根」になっている。

鐘楼も茅葺屋根で、大変趣のある建築物。観音堂は、文明 3 年（1471）に伊達成宗が再建し、鬼石観音とも称され信達三十三観音巡礼の第三十三番結願札所。現観音堂は、享保 3 年（1713）の建立。

■所在地：伊達市梁川町八幡字堂庭 12

5 大枝城跡

応永 20 年（1413）、伊達氏 8 代宗遠の三男孫三郎宗行が大枝城に居城し、大條氏を称したのに始まる。本丸跡や二の丸周辺の土塁・空堀・曲輪が残されている。

天正 19 年（1591）、伊達氏領が宮城県・岩手県南部地域へ移された時、7 世宗直は、伊具郡大蔵村へ移る。のちに相馬氏に近い坂元要害に移り幕末まで守った。

■所在地：伊達市梁川町東大枝字館

6 やながわ希望の森公園

園内には、ミニ SL「さくら 1 号」、ログハウス「モンタナロッジ」、野草・薬草園、児童遊具等がある。

春は、咲き競う 100 種・約 2000 本の桜の花見が、夏は、キャンプ、秋は、芋煮会等自然の中で楽しめる公園です。

公園内の「古民家」は、江戸末期の農家で、信達地域が一望できる里見山にあります。

■開園期間：4 月～11 月まで（入園無料）
■公園内の産業伝承館：自由に休憩できます（伊達市梁川町字筒下 14 ☎ 024-577-6888）

7 梁川城跡

（本丸庭園、北三の丸跡は県指定史跡名勝）

伝承では永観年間（983～85）に山蔭中納言藤原政朝が霞ヶ岡に仮城を築いたとされるが、築城は発掘調査などから 13 世紀中期頃と考えられている。それ以後、植宗が天文元年に桑折西山へ移るまで伊達氏の府城として機能した。

11 代持宗～14 代植宗の時代は、中央と深いかわりの中で、京都東山文化を取り入れ、

本丸庭園に「心字の池」を配するなど、往時の伊達氏の勢力と文化の高さを示している。

政宗は天正 10 年に梁川八幡宮を参詣し梁川城に逗留している。

慶長 3 年（1598）、上杉景勝が若松城主となり、4 月に須田長義が梁川城代に配された。

その後、磐城平藩の井上氏や安藤氏の分領となり、文化 4 年（1807）には、松前氏が梁川に移封、再び本丸に本政庁を建造した。

■本丸：伊達市梁川町字鶴ヶ岡 1
（本丸跡及び北三の丸跡は福島県史跡指定）

8 古町観音堂

（聖観世音菩薩坐像・六角堂厨子は、市指定文化財）

信達三十三観音巡礼の第三十番札所である。文明 17 年（1485）の再建と伝えられている。

古くは、利生寺観音・利生寺殿観音と呼ばれていた。聖観世音菩薩座像は、寄木造りで柔らかな優しい顔立ちの「観音様」。室町 15 世紀の作である。

貞享 2 年（1685）に修理され、当時の梁川藩主松平義昌や側近の銘が見える。

■所在地：伊達市梁川町字古町 23

9 伊達市梁川美術館

一階は、梁川町に生まれ日本彫塑界の巨匠故太田良平氏の記念ホールです。

二階は、市民ギャラリーです。

■休館日：月曜日（月曜日が祝日のときは、翌日休館）
■連絡先：伊達市梁川町字中町 10
☎ 024-527-2656

10 称名寺毘沙門堂と大イチョウ

（イチョウは市の天然記念物、毘沙門天像は市指定文化財）

称名寺は、梁川藩主松平出雲守 3 万石の菩提寺で毘沙門堂がある。境内のイチョウは樹高、約 30 メートル、幹周り 6.2 メートルの雄の大イチョウは緑の文化財。天正 10 年（1582）寺が創建された当時から生えていたと伝えられる。

■所在地：伊達市梁川町字右城町 81

11 本覚寺楼門

（楼門は、市指定文化財）

楼門の建立は、天保 12 年（1841）とみられる。二階建て、四脚門形式で入母屋作り。

軒垂木や蛙股、妻飾り、破風等の細工は、高度な技術を駆使している。

■所在地：伊達市梁川町字内町 41-4

12 粟野地藏堂

「粟野地藏様」と呼ばれ、延命・子授けのご利益があると信者が多い。

「奥州伊達郡粟野地藏尊略縁起」によると、この地の茶屋で茶を所望した弘法大師を娘が慕い、大師の飲み残した茶の泡を飲んで妊娠出産。子供が三歳になった折、再び訪れた大師は、その子を再び泡に戻し、娘の妄念であることを悟らせた。

この時、大師は、子供の追福のため、四寸六分の地藏を刻んだのが「泡の地藏」で、後に「粟野地藏」となったと伝えている。

■所在地：伊達市梁川町粟野字堂内 22